

## 第5回 医学生の緩和ケア教育のための授業実践大会

# 死に向き合う緩和ケア教育

「大学病院の緩和ケアを考える会」では、10年間の模擬授業セミナー、学内で次世代育成していく時代を見据えた授業コンテストを開催してきました。前回、ディスカッションした医学生に対する教育内容を踏まえ、医学生が死に向き合うことのできる医療者に育っていくためにはどのような教育が必要なのか、また、授業づくりも考えました。今回は死に向きあえる教育5か年計画の記念すべき1年目のディスカッションをします。これからの医学教育に一石を投じることのできるセミナーへのご参加お待ちしております。



日時：2018年11月17日（土）10時～17時

場所：昭和大学看護専門学校4階演習室  
東京都品川区旗の台1-5-8

対象：医学部学生に対する緩和ケアの授業に興味のある医療者

費用：5,000円（事前申込・昼食代込）当日参加可能（参加費6,000円）



### 第1部

講演「看取りの作法をどう伝えるか」

講師 林章敏 聖路加国際病院 緩和ケア科 部長

聖路加国際大学 がん看護学・緩和ケア 臨床教授

座長 黒子幸一 秦野メディカルクリニック 院長

### 第2部

ワーク「医学生が死に向きあうための授業作り」

申し込み締め切り：2018年10月30日

申し込み方法：氏名・所属・職種を

E-mailまたはホームページから事務局 までお申込ください

終了後には懇親会（参加費：3,000円）を企画しています。

申込時にご参加の有無をお知らせください。

<問合せ先>

事務局：jimukyoku@da-kanwa.org ホームページ：http://www.da-kanwa.org/

主催：大学病院の緩和ケアを考える会 教育部会

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

このセミナーは競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。